

	<h1>まねん</h1>	KKR広島記念病院広報誌
		第5号
		発行所〒730-0802 広島市中区本川町1-4-3 国家公務員共済組合連合会 広島記念病院 TEL(082)292-1271

広島記念病院ホームページ URL <http://www.kkrhiroshimakinen-hp.org>

変革期の病院経営について

広島記念病院 院長 中井 志郎



国家財政の赤字を背景に進められてきた医療制度改革は、平成14年4月、制度始まって以来の診療報酬マイナス改定となり、全国の医療機関は、病院、診療所ともに依然厳しい経営状態が続いています。

当院は紹介医、連携病院、診療所の先生方のご協力により（紹介率48%、平成14年7月～9月平均）国の推進する医療制度改革の方向に沿った医療を模索しております。そして、新医療法の下で急性期病院

としての役割を果たすことで、安定した経営を維持するとともに地域に貢献できればと思っております。10月からは、老人医療費の自己負担の増加とともに、急性期入院加算病院に対して医療安全管理体制の確立、褥瘡対策チーム編成、在院日数17日以内が求められており、当院は、いずれもクリアしております。

21世紀の病院医療として、次の5つが求められています。

- ① 患者様の視点での医療
- ② 情報開示による情報の共有化
- ③ 医療行為における安全管理
- ④ 市場原理（医療の機能分担）
- ⑤ 以上を実現するためのIT化

当院といたしましても、今後さらに一層医療の質を高めるため、医療機能分担をふまえた病病連携、病診連携のさらなるきめ細やかな進化した体制作りが必要と考えております。医療の標準化に向けての情報の共有と、患者個々の個別性を考慮した対応にもとづく医療情報の共有化の戦略として、平成15年8月に電子カルテシステムを導入すべく、現在準備中です。IT化が充分進化した状態になれば、連携病院、診療所の紹介医、逆紹介医の先生方との間に院内と同様の情報の共有化が実現できることとなります。

今後も連携の先生方や患者の皆様のニーズに応え、病院の理念を実現すべく努力してまいりますので、ご指導、ご鞭撻よろしくお願ひ申し上げます。

MRA(magnetic resonance angiography)について

放射線科医長 西岡 康二

当院に MR 装置が導入されて、約 4 年半が経過しました。この間 7700 例の MR 検査のうち約 23% で MRA (magnetic resonance angiography) が施行されています。MRA とは一言で言えば MRI を利用した血管の画像ですが、造影剤を用いないで血管が高信号となるように撮像する方法 (一般に MRA と呼ばれている) と造影剤を使用して血管を描出する方法 (造影 MRA と呼ばれている) とがあります。前者はさらに撮像方法により TOF 法と PC 法に分けられ、画像データの収集方法により 2D または 3D に分類できます。一般には得られた画像データを最大輝度投影法 (MIP) 処理して読影に用いています。



MRA と造影 MRA は、撮像方法が全く違うためその適応部位もかなり違ってきます。造影 MRA は造影剤を使うことにより乱流や血流の影響が少なくなり、流れの遅い血管 (門脈) の描出に優れています。また撮像時間が短いので動きの多い大動脈やその主要分枝の検査に用いています。現在当院で行っている MRA の主な検査範囲と疾患及び撮像方法を表 1 に示します。膝より末梢の動脈、上肢の動脈及び四肢の静脈に関しては現段階では臨床上有用と思えるような画像はまだ得られていません。装置や新たな撮像方法が開発されれば適

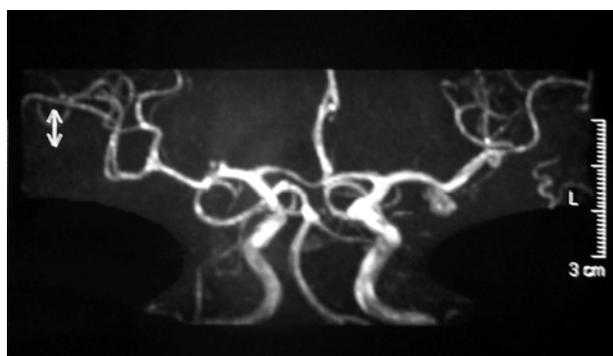


図 1

応範囲は広がるものと期待されています。禁忌に関しては一般の MRI と同じで、造影 MRA では気管支喘息などで造影剤が使用できない人は禁忌となります。

最後に当院で施行した症例を呈示します。図 1 は、頭部 MRA で左中大脳動脈に $\phi 5\text{mm}$ 大の動脈瘤が認められます。図 2 (次ページ) は、腹部～骨盤部の造影 MRA で、腹部大動脈瘤、両側総腸骨動脈瘤が認められます。

表 1

頭部	脳ドックルーチン	MRA (3D TOF 法)
頸部	内頸動脈、椎骨動脈	MRA (3D PC 法または 2D TOF 法)
胸部	胸部大動脈及び 弓部の主要分枝	造影 MRA
腹部	腹部大動脈、腎動脈	造影 MRA
	門脈 (静脈瘤、シャント)	造影 MRA
骨盤部	骨盤内動脈 (動脈瘤、ASO)	MRA (2D TOF 法) または造影 MRA
大腿部	大腿動脈、膝窩動脈 (ASO)	MRA (2D TOF 法) または造影 MRA

ASO; 閉塞性動脈硬化症



図 2

今日の内視鏡室

10月7日、晴。今日の予約は腹部エコー 18件、上部内視鏡 18件、下部内視鏡 7件であったが、予約外の『飛び入り』が入って結局それぞれ 26件、20件、8件であった(注:予約なしでも朝食抜きで来院いただければよっぽどのことがない限り当日検査可能です)。咽頭麻酔をかける椅子のところに『ご希望により安定剤の血管注射を使う方法もあります』と張り紙をしているためか、お陰様で楽に検査が受けられるとロコミでも拡がり、検査件数は右肩上がりである。胃ガンの罹患率は減少してきているというのに内視鏡治療件数(内視鏡的粘膜切除術(EMR))は年々増加し昨年は40件であった。これは早期に見つかる病変が増えたためや内視鏡治療の適応が拡大されつつあるためであろうと思われるが、今日の午後から行った患者様もかなり大きく、全体像の観察さえも難しい部位で技術的困難さもあったが、何とか予定通り完了し、後は病理の報告書が良い結果でありますようにとお祈りするのみである。下部の検査も『今日の検査は楽でした』という言葉が聞きたいばかりに、優しく丁寧にと心がけながらスタッフ一同努力をしてはいるものの、術後の癒着などで痛ませたところがあった方もあり、本当に申し訳なく反省の毎日である。

本日の検査終了時間は午後 5:10。
さてお昼ご飯でも食べるとしますか・・・。

(文責:平賀)



中村医長・渡辺医師・平賀医師・小早川医師・江口医師



病診連携室だより

医事課長兼病診連携室室長 清水 栄子



平成14年8月、内藤前室長の定年退職により、病診連携室を医事課内に移設し、ソーシャルワーカーとの2人体制で再スタートいたしました。広島記念病院の理念のひとつでもある患者の皆様が安心して受診できる病院、また、地域の医療ニーズに応えられる病院をめざして日々奮闘しております。

急性期病院としての平均在院日数17日以内、紹介率30%以上の維持は不可欠ですが、入院患者様の退院調整としての重要な役割を担っております。ドクターとソーシャルワーカーがコミュニケーションをとりながら、患者様や、ご家族の方と面談をし、希望に添った病院や施設を選択しております。パンフレットや地域マップの情報には限りがあり、転医先の紹介の情報を収集しております。情報がありましたら連携室へお知らせください。また、今後は診療所等の訪問をさせていただき、患者様の希望に添える情報が提供できるようお互いの顔が見える連携室にしたいと思っております。

6月より、紹介患者様の待ち時間短縮のために、初診カルテの事前作成を行っております。当院専用の診療情報提供書とFAX初診受付用紙を拝送させていただいておりますのでご活用ください。

また、ご紹介いただいた患者様にご迷惑をおかけしないように、広島記念病院ホームページには、外来診察医の配置表や休診案内を掲載しておりますのでご利用いただければ幸いです。

微力ではございますが、皆様のご意見やご要望をお聞かせいただき、病診連携の更なる充実と、患者様に選ばれる病院をめざして努力してまいります。今後ともご支援賜りますようよろしくお願いいたします。



特定療養費について

医事課係長 二宮 孝幸

国の政策として効率的な医療の提供を行うために病院と診療所との機能分担の推進を図る目的として、初期の軽い病気や慢性疾患の治療は家庭医と言われる診療所の先生、いわゆるかかりつけ医が行ない、かかりつけ医の診断により専門的な検査、又入院を必要と



する高度専門治療は病院で行う役割に応じた医療の提供が行えることを主としたものです。こうした機能分担を誘導すべき制度に基づき医療機関などからの紹介状なしに200床以上の病院に初診で受診した場合には、救急治療などの一部例外を除き初診料とは別に各病院が定めた金額を特定療養費として徴収できることとされました。

当院では、従来から開業医の先生方からの紹介を主体に置いた地域医療を推進してまいりました。こうした趣旨を踏まえ地域の医療機関との病診連携を進めるべく医療を提供することとし平成14年4月より特定療養費2100円（税込み）をご負担いただいております。

ご紹介を頂きました患者様が治療や検査を終えた後は、紹介もとの先生にお帰えしし引き続き治療をお願いしております。

今後も積極的に地域医療に貢献できるよう推進し、より一層の努力をして参りますのでご理解とご協力をお願いいたします。

季節と食事

栄養科主任 西本善子

ギラギラと太陽が照りつけていた夏も終わり、夜には虫の音のきこえる秋を迎えました。日本は、春夏秋冬と四季の移り変わりがあり、時の流れを感じることができます。とてもすてきなことです。

スーパーで栗をみかけると「あっ、秋がきた。」と感ずることが出来ます。けれど、近頃は季節を感じさせてくれる食品は少なくなってきました。残念なことです。トマトやキュウリは一年中食べることができるようになり、いつとれる物なのか、わかりにくくなってきています。以前テレビで「苺の旬はいつ？」と子供にたずねていました。12月という答えが圧倒的に多かったそうです。 苺→クリスマスケーキ→クリスマス→12月 という流れだそうです。それに、苺のケーキなんて一年中売っていますからね。

秋といえば、お月見、お祭り、運動会、お彼岸・・・と色々あり、患者さんの中には、団子、お寿司、おはぎなどの行事につながるおいしい料理の思い出をたくさん持っておられる方も多いと思います。楽しかったことなどを、料理から思い出していただけたらうれしいです。季節が変わるごとに、その季節を感じていただけるような食事を提供しております。

クリスマスメニュー（産婦食）



病院の「理念」「憲章」「患者様の権利の尊重」について

病院のこころ、職員の姿勢を伝えることを意とし、平成10年6月病院建替え完成と同時に、下記の「理念」「憲章」「患者様の権利の尊重」を制定いたしました。患者の皆様やその関係者の方々等広くお知らせするため、病院玄関より各階すべてに掲示しております。日々の仕事のなかで実現できるよう努力しております。

理 念

患者の皆様が、安心して受診できる、やすらぎの環境及び満足と信頼が得られる最良の医療サービスを提供する。

憲 章

1. 私達は、「癒しの心」を医療の心として職務に専念します。
2. 私達は、患者様の人権と意思を最大限に尊重し、納得と同意に基づいた全人的医療を目指します。
3. 私達は、日々自己研鑽に励み、良質で温もりのある、地域に密着した医療を心がけます。
4. 私達は、地域医療体系に参加し各々の持てる機能の連携により、より合理的で効率的な良質の医療に努めます。

患者様の権利の尊重

- ◆ 患者様の人間としての尊厳を尊重し秘密を守ります。
- ◆ インフォームドコンセント（良く納得された上での合意）を基盤とし、信頼関係を確立します。
- ◆ 各科の有機的な連携を図り、高次で専門的な総合医療を行います。
- ◆ 癒しの心を持った、接遇、ケアを行います。
- ◆ 癒しの心を持った、入院環境、アメニティーの整備を心がけます。

何かお気づきの点や、紹介等で連絡がありましたら何なりと申し付け下さい。連絡先は下記のとおりです。また外来各科および病棟にFAXを設置しておりますので、ご利用ください。

代表 広島記念病院

TEL 082 (292) 1271

FAX 082 (292) 8175

庶務課

TEL 082 (503) 1001

病診連携室 (医事課)

TEL 082 (503) 1003

FAX 082 (503) 1010

内科・外科

FAX 082 (503) 0722

産婦人科・小児科

FAX 082 (503) 0723

耳鼻科・皮膚科・泌尿器科

FAX 082 (503) 0731

4病棟

FAX 082 (503) 1014

5病棟

FAX 082 (503) 1015

6病棟

FAX 082 (503) 1016

7病棟

FAX 082 (503) 1017

8病棟

FAX 082 (503) 1018